

習得する。つまり、習得は聞くこと読むこと
によってなされるというものである。

その際の留意点として以下のことが挙げら
れている。

- ① 適切なテキストと目標（読む理由）が必
要である。
 - ② 適切なテキストの基準は複雑さのレベル
が生徒の能力に合っていることと、生徒が
おもしろいと思うことの二つである。
 - ③ 複雑にする要素は、語彙、統語、意味で
ある。
 - ④ 目標は、テキストが生徒を読む気にさせ
る情報や伝達内容を含んでいる。
- (2) スキーマ理論

この理論は、読み手のあらかじめ持っている
題材や言語に関する先駆知識（Prior
Knowledge）をリーディングの指導に利用す
るものである。この理論を利用すれば、

- ① テキスト全体が何について書かれている
か。
- ② Story やParagraphがどのように発展す
るか。
- ③ 語彙や文法をどのように理解するか。
というふうに大きなものから小さなものへ、
即ちTop-down 式に指導することが可能にな
るというものである。

以上二つの理論は、内容理解のリーディングの
指導という点から考えると興味深い理論であるが
いずれの方法をとっても、イントップする素材、
内容、量の選択に問題があったり、生活経験から
くる先駆知識に差があったりして手軽に使うとい
うわけにはいかない。

そこで、比較的容易に生徒の興味・関心を引き
つけることができるものとして、ビデオの使用と

(5) Teaching Procedure JTE: Japanese Teacher of English AET: Assistant English Teacher

AETとのチーム・ティーチングによる指導を
考えてみた。

5. 具体例 (試案)

内容を把握する考え方には「部分から全体へ」
という考え方と「全体から部分へ」という考え方
があるが、「全体」と「部分」との関係は一方的
なものでなく、相互作用的なものであると考える。
「部分」を無視しては「全体」をとらえることは
できないし、逆に「全体」の傾向をとらえること
によって「部分」の解釈もより正確になると思わ
れる。そこで試案は、「全体」→「部分」→「全
体」という考え方で指導法を工夫してみた。

(自称：リサイクルメソッドとよぶことにする)

(1) 題材 LET'S READ 4

The First Weather Station on Mt.Fuji
(New Horizon English Course 3)

(2) 目標

- ① 物語の概要、要点をとらえながら読み、
どんなことが書かれているか把握する。
- ② AETを活用しながら、読み取った内容
を表現活動に結びつける。

(3) 指導計画(4時間)

- 第1・2時 物語全体の「概要」をとらえさ
(本時) せる
- 第3時
 - 新出語句の発音
 - 意味の確認
 - 主な言語材料を用いての表現を
中心とした言語活動

第4時 物語全体の「要点」をまとめさせる

(4) 本時の目標

AETとのチーム・ティーチングとビデ
オを活用することにより物語全体の「概要」
をとらえさせる。

Procedure	Instructors	Share	Students
1. Greetings	・ 英語であいさつをする	JTE, AET	・ JTE及びAETにあいさつをする